

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【令和 7 年度】

※1～6, 9:施設所管課記入
7:指定管理者記入
8:指定管理者及び施設所管課記入

指 定 管 理 者 名	特定非営利活動法人おおさき地域創造研究会
施 設 所 管 課	まちづくり推進課

1. 施設名

施設名	大崎市市民活動サポートセンター	施 設 の 住 所	大崎市古川駅前大通一丁目5番18号
		電 話 番 号	0229-22-2915

2. 施設の概要

設 置 年 月 日	平成18年3月31日	設置条例等	大崎市市民活動サポートセンター条例
設 置 目 的	市民の自主的かつ自発的に行う営利を目的としない公益的な活動を総合的に支援し、活力ある地域社会の実現に寄与することを目的に設置する。		
施 設 の 内 容	建築年月日:昭和59年3月29日, 延床面積:571.3㎡ 設備等:小会議室, 大会議室, 事務ブース, 交流スペース, 和室, 事務室		
利 用 料 金	大会議室:440円／1時間, 小会議室:330円／1時間, 和会議室:440円／1時間 事務ブース:4,380円／1カ月, 書庫保管庫:440円／1カ月		
閉 館 日 , 開 館 時 間	閉館日:月曜日及び12月29日から翌年の1月3日までの日 開館時間:午前9時から午後9時まで		

3. これまでの管理運営状況

期 間	管 理 形 態	管理受託者又は指定管理者等
平成 23 年度～平成 27 年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3 特定非営利活動法人 宮城マネジメント協会
平成 28 年度～令和 2 年度	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3 特定非営利活動法人 宮城マネジメント協会
令和 3 年度～	1.直営・2.管理受託・3.指定管理・4.その他	3 特定非営利活動法人 おおさき地域創造研究会

4. 現指定管理者の指定期間

指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日	(5 年 0 ヶ月)
選定方法	1	1.公募 (応募者数: 団体)	2.非公募	

5. 指定管理料

令和 7 年度(ア)	令和 6 年度(イ)	(ア) - (イ)
18,418 千円	18,418 千円	0 千円

※(ア)は当該年度, (イ)は前年度とし, それぞれ決算額ベース。

6. 指定管理者が行う管理運営業務の内容

指定事業(業務): 市民活動の促進のための施設及び設備の提供, 市民活動に関する相談, 市民活動に関する情報の収集及び提供, 市民活動に関する交流と連携の推進, 市民活動に係る人材育成, 市民活動に関する調査及び研究
自主事業: 自動販売機設置

7. 利用実績等

(1)利用者数

(単位:人, 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和 6 年度	516	445	461	609	599	475	503	463	366	306	417	519	5,679
令和 7 年度	532	657	738	476	482	461	603	517	423	489	564	478	6,420

主な増減要因	・前年比:+741人(+13%増) ・年間を通して、多文化共生イベントなどの多彩な企画を開催し、若者や日本語学校の生徒をはじめとした外国人住民など、新たな利用者層の獲得につなげた。 ・企業等がサポートセンターを活用して講習や各種事業を行ったことも利用者数の増加につながっている。
--------	---

※上段に前年度実績を記載し、下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用者数を記載し、自主事業による人数・件数は記載しないこと。

(2)利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和 6 年度	114	93	67	82	84	94	74	91	64	57	68	68	956
令和 7 年度	147	114	108	86	66	85	61	97	79	84	87	77	1,091

主な増減要因	・前年比:+135千円(+14.1%増) ・新規利用団体の増加や、各団体の活発な利用により、施設の稼働率が向上し、会議室等の利用件数が増加(前年比+47件)したことが挙げられる。 ・令和6年6月に実施された利用料金の改定(値上げ)による効果が、今年度も継続して収入のベースアップに寄与したことも、増加の大きな要因となっている。
--------	---

※上段に前年度実績を記載し、下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用料金を記載し、自主事業による収入は記載しないこと。

(3)サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取組み

多世代・多文化を巻き込んだ交流機会の創出

日本語学校の生徒を交えた「ボードゲーム交流会」や「ネパールカレー作り」などの多文化共生イベントを実施した。また、学生主体の短歌個展や、小・中学生向け体験型講座「チャレンジデー」を開催し、幅広い世代が市民活動に触れる機会を創出した。

デジタルツールの活用支援とオンライン発信の強化

SNS (Instagram・Facebook等) や「note」を活用した積極的な情報発信を継続した。さらに、「AI議事録ワークショップ」や「AIを活用したSNS発信ワークショップ」を開催し、市民活動団体の事務作業の効率化と発信力向上を支援した。

(4)施設利用者の主な声やその対応状況

《施設利用者の声》

- ・床がきれいで気持ちよく利用できています。
- ・窓口の方々の笑顔が素晴らしいです。
- ・駐車券紛失時の手数料が3,000円は高く感じます。
- ・テーブルと椅子の数を増やしてほしいです。(50人程度で利用をする場合)

(5)施設の管理運営における課題

- ・施設が老朽化してきており、修繕も行われているが、新たな修繕箇所も生じており、計画的な維持管理が求められる。
- ・施設の電気配線がLED未対応のためショートする事例が発生しており、現在は一部電源を落として運用している。また、トイレや流し台のつまりに加え、大雨の際には雨漏りの事案も発生している。利用者の安全と利便性を確保するため、配線改修と併せた計画的なLED化の検討や、水回り設備及び雨漏りの修繕を進めていく必要がある。

8. 管理運営状況

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
------	------	------	------

1 施設全般の管理運営に関する業務 ※ 該当しない項目については、「－」を記入してください。

(1) 人員配置	管理運営に必要な人員及び有資格者を配置している。	◎	◎
(2) 職員研修	業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	◎	◎
(3) 管理記録	各種の管理記録(業務日誌等)を適切に整備、保管している。	◎	◎
(4) 安全管理	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
(5) 清掃・維持管理	施設、設備等の保守点検や維持管理等を適切に行っている。	◎	◎
(6) 施設等の修繕	施設や備品等の修繕を適切に行っている。	○	○

2 利用者に関する業務

(1) 利用状況	事業計画書等に基づく利用者数や施設の稼働率がある。	◎	◎
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収、減免、還付等の手続きを適切に行っている。	◎	◎
(3) 利用者満足度	利用者ニーズの把握に向けた取組みを行っている。	○	○

3 事業の実施

(1) 指定事業	仕様書、事業計画書に基づく事業を実施している。	◎	◎
(2) 自主事業	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	◎	◎

4 個人情報の取扱い

(1) 個人情報の保護	協定書等に基づき適切に個人情報を取扱っている。	◎	◎
-------------	-------------------------	---	---

5 管理運営業務の収支等

(1) 収支状況	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	◎	◎
(2) 効率的な運営	経費の節減や利用料金収入の向上に向けた取組みを行っている。	◎	◎
(3) 経理事務	専用口座、帳簿等を備え、適切な経理事務を行っている。	◎	◎

評価	評価の考え方
◎ (優 良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○ (良 好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△ (課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
× (改善要)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が行われなかったため改善を要する。

9. 施設所管課の総合評価

年間を通して多彩な企画の実施や、企業等によるサポートセンターの活用が進んだ結果、利用者数及び利用料金収入が前年を大きく上回ったことは高く評価できる。

一方で、行政や民間企業だけでは対応できない複雑な社会課題の解決において、NPO法人の役割が極めて重要となる中、現実には資金不足や人材確保に課題を抱える団体も見受けられる。

このことから、市民活動をさらに促進するため、サポートセンターの運営方法や業務内容の充実を含め、実態に即したNPO支援の「あり方」について検討を進めていきたい。